



朝夕はグッと冷え込むようになり、冬の訪れを感じます。寒くなってきても子ども達は元気！  
今月もお散歩や運動遊びを通してたくさん体を動かしたり、手洗い等の予防をしながら  
冬を元気に乗り越えられる身体づくりをしていきたいと思ひます！

保護者会でもお伝えしていますが、うさぎ組の年齢は自分だけの世界から少しずつ友達を意識し始める時期です。実際にクラスでも並行遊びをしていたところからだんだんと「〇〇君と一緒に遊びたい」「遊びにいらてほしい」等という様子が増えてきました。でも初めは自分の気持ちを相手に伝える事が恥ずかしい…という子もいて当たり前！今は自分の気持ちを相手に伝える練習中です。今は大人が仲介しながら、伝えられた時にはたくさん褒め、その経験が友達関係の広がりにつなげていくよう見守っていきます。

また、簡単なルールのある遊びも楽しめるようになってきて「順番」や「交代」等もわかるようになってきました。そのような遊びを通して、自分の思いを言葉や表情で相手に伝えようとしていたり我慢したり待ってみようとしていたりする姿も見られるようになってきています。

少し前まで、子どもたちとわらべ歌をして遊ぶときには大人にしてもらう「あそばせあそび」のように大人と子どもが1対1で楽しむものが多く、その遊びを通して言葉や身体機能の獲得等をしてきました。

その次の段階として、”友達と一緒に”ということにも興味を持つようになってきたうさぎ組の子どもたちは「もぐらどんの」というわらべ歌をたのしんでいます！真ん中に一人もぐら役の子がいて「もぐらさん、あさですよ、起きてくださーい！」と周りの子が声をかけ、もぐら役が「はい」と眠りから覚めてお返事する遊びです。このわらべ歌では、ルールを守る、役割を担う・交代する、自己コントロールをするということなど、遊びを楽しみながら社会性の基礎を学ぶきっかけにもなります。

友達と一緒に遊ぶことが増えることで、自分の思い通りにいかなくて悔しいという思いもすることも出てきます。そのような時には大人が仲介し、互いが納得して次に進めるよう援助をしていきます。

わらべ歌以外にも、ごっこ遊びや鬼ごっこ、しっぽとりゲーム等、みんなで楽しめる遊びをこれからたくさん取り入れていきたいと思ひています(\*^^\*)